

令和3年 9月16日

報道機関 各位

国立大学法人 電気通信大学

JAPIA（一般社団法人日本自動車部品工業会）寄附講座 『自動車の大変革（CASE）に必要な技術』 2021年10月開講

国立大学法人電気通信大学（東京都調布市：学長 田野俊一 以下「本学」）は、10月4日から一般社団法人日本自動車部品工業会による『自動車の大変革（CASE）に必要な技術』と題する寄附講座を開講します。

機械工学、物理学、材料科学、エレクトロニクス、ロボティクス、計算機科学により発展してきた自動車は、今や情報・電気・通信を中核としてさらなる大変革期（CASE：コネクティッド、自動運転・安全、シェアリング、電動化）を迎えています。次世代のモビリティにおいては、自動車に関わる様々な主要技術の知識に加え、それらを統合的に扱う技術、サービス展開、モビリティを含む社会展望に関する知識が必須となります。本講座では、そうした現場の第一線で活躍される各界のゲスト講師を招き、次世代モビリティの知識と現場の対応について学びます。対象は情報理工学域全類（1～4年次）の学生で、CASEを通して世の中のモビリティがどのように変化していくかについて、ゲスト講師がリレー形式で授業を行います。（講義テーマは別紙参照。）自動車業界が必要とする技術や開発・研究における体験談を伺い、自分のキャリア形成に役立てることができる講義です。

本学は、自動車の大改革期において『イノベーションを生む機能を内包する「持続的自立進化＋多様な幸せ度最大化」社会』の実現に向け取り組んでいきます。本講義を通して、大学と自動車業界の枠組みを超えて、分野、人材など多様性を尊重しつつ、相互理解を活性しながら、新たな価値創造を担う人材の育成を目指します。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、対面授業とオンラインのハイブリッド形式で実施します。

【問い合わせ先】

電気通信大学 JAPIA 寄附講座

担当教員：教授 金子 修（大学院情報理工学研究科）

准教授 澤田 賢治（i-パワードエネルギー・システム研究センター）

E-mail：staff@case.uec.ac.jp

URL：大学Webページ <https://www.uec.ac.jp>

寄附講座Webページ <http://www.case.uec.ac.jp/>

【別紙】

2021 年度電気通信大学開講
 JAPIA（一般社団法人日本自動車部品工業会）寄附講座
 「自動車の大変革（CASE）に必要な技術」講義予定

	日程	講義テーマ
1	10/4	自動車の大変革と将来モビリティ展望：Part1
2	10/11	自動車の大変革と将来モビリティ展望：Part2
3	10/18	次世代モビリティにおける車室内空間
4	10/25	自動運転システム
5	11/1	自動運転の時代に必要な計算のカラクリと落とし穴
6	11/8	衝突安全法規・アセスメントと乗員保護技術
7	11/15	モビリティの未来を照らす最新照明技術
8	11/29	電力・信号伝達技術
9	12/6	自動運転に必要な STRG 系技術と取り組み事例
10	12/13	シェアリング
11	12/20	HEV、EV システム
12	12/27	モータ、インバータ技術
13	1/17	自動車用ブレーキ基礎講座；自動車用ブレーキの未来
14	1/24	材料技術；ゴム加工、シール技術
15	1/31	全体総括講義または演習